

# 平成28年度（第5回）定時総会資料

## 第1号議案

議事録署名人選出の件

## 第2号議案

平成27年度事業報告および収入支出決算報告並びに  
監査報告承認の件

日時 平成27年5月30日(土) 10時～14時40分

場所 千葉市美浜区若葉2-10-1

千葉県立保健医療大学 大講義室

内容 総会式典 10:00～10:40

特別講演 10:40～12:20

「これからの栄養士業務に期待するもの  
～(公社)日本栄養士会の将来構想を踏まえて～」

講師 公益社団法人日本栄養士会

監事・顧問 弁護士 早野 貴文

総会議事 13:10～14:40

出席者数 1,045名(内委任状916名)

## 平成27年度事業報告

### 1. 平成27年度定時総会の開催

平成27年度定時総会は、瀧口弘：千葉県健康福祉部健康づくり支援課課長、佐野彰：千葉県議会議員・顧問をはじめとする8名の来賓をお迎えして式典を行い、引き続き特別講演（栄養士・管理栄養士研修会）、総会議事を次のとおり開催した。

### 平成27年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務とおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学等に跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成27年度事業の実施概要を記載する。</p>	
I. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)	
1. 栄養・健康に関する調査研究事業	
1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)	
<p>栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目指すため、各職域事業部における研究業務の推進および栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの充実を努めた。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考：かしこく食べる」の見直しへの協力などを行った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興	
2-1 千葉県栄養改善学会の開催(学術部)	
<p>栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく講演・シンポジウム、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、よりおいしく安全な食事作りや効果的な栄養指導・給食管理・食事療法などの充実を図ることを目指した。平成27年度は、28年2月6日(土)千葉県立保健医療大学において、「県民の健康寿命延伸に役立つ栄養士活動とは」と題し千葉県衛生研究所技監 佐藤真一氏の特別講演と、「県民の健康寿命延伸に役立つ栄養士活動</p>	

の実際」と題したシンポジウムを実施した。また会員からの一般口演（20演題）と協賛会員による優良商品の展示を行った。参加者数は139名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-2 「食育媒体の作成と開発」の実技研究会の開催（福祉）

新しい食育媒体の開発と食育指導技術の向上を目的として、今まで作製した食育媒体を使って食育指導方法などの研修会を平成28年2月9日(火)に千葉市消費生活センターにて実施した。講師は食育指導家の板良敷信子氏に依頼した。参加者は24名（内会員外6名）であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④講師は食育指導士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発を目指し、27年度は平成28年2月2日(火)に千葉県栄養士会事務所において、昨年度に引き続き身体活動を増やすための指導を検討した。参加者は15名であったが、実際例を示しながら運動習慣のない対象者が生活の中で取り組める運動について、グループワークで検討を行い、指導において取り組める内容が提案された。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、業務に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だより等を掲載し、栄養千葉発行に併せて3回（4月、8月、12月）発行した。記事は、県民や会員外の栄養士・管理栄養士も読むことができるようにホームページに掲載するとともに、事務所掲示板に掲示した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-5 栄養士調理師合同研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮、疾病の再発防止、および病院給食の質の向上に役立てることを目的に、10月18日(日)に千葉市商工会議所において46名が参加して開催した。内容は、研究発表8題と特別講演として「病院栄養士が知るべき在宅栄養指導」と題し、福岡クリニック在宅部、中村育子氏による講演を行った。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-6 千葉県内医療機関栄養業務実態調査の実施（医療）

千葉県内の医療機関の栄養管理業務の実態を把握し、県内医療機関における栄養業務の改善向上を図る基礎資料とすることを目的に、昭和58年度から4年ごとに実施し、今年度に第9回を実施した。対象は県内の医療機関284施設とし、160施設（56.3%）から回答を得た。基礎調査・運営状況・業務企画・災害時の備え・フードサービス・栄養指導・栄養管理の7区分で63項目の調査結果を集計した。

報告書を作成し、調査協力施設などの関係機関に郵送した。千葉県栄養士会事務所でも閲覧可能である。

【①栄養士・管理栄養士 ②冊子、事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

### 3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、平成26年度の食育健康料理教室の実施にあたって考案したレシピのうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載することとして準備したが、諸般の事情により掲載することはできなかった。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

### 4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。27年度の各委員会・会議は以下のとおり。千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策推進協議会、千葉県米消費拡大推進協議会、千葉県食品安心安全協議会、千葉県留置施設委員会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護専門協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③調査・政策立案 ④政策関係の専門的知見を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

### 4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力した。27年度の委員会・会議は以下のとおり。千葉市健康づくり推進協議会、千葉地域保健医療協議会、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市学校給食センター運営委員会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として行った。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの登載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施にあたっては、適宜、関連科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。	
事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業
定款上の根拠	第4条第1項第2号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	<p>本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。</p> <p>健康増進法（平成14年8月2日法律第103号）第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。</p> <p><b>事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】</b></p> <p>この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2)2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3)3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成27年度事業の実施概要を記載する。</p>
<b>Ⅱ. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業（定款第4条第1項第2号）</b>	
<b>1. 継続教育・生涯教育事業－基幹研修制度</b>	
<b>1-1 生涯教育研修会の開催（学術部）</b>	
<p>栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められる。そこで従来から行ってきた生涯学習から、キャリア形成を支援できる制度とするために、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行された。目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、栄養士・管理栄養士として国民のために役立つ能力を身につけることである。生涯教育は「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修に分けられ、平成27年度は基本研修として必須科目9単位を含む11単位と実務研修6単位を6月13日(土)、7月5日(日)、8月2日(日)、9月5日(土)、10月11日(日)の5日間にわたって千葉商工会議所および千葉市文化センターを会場として開催した。受講者数は157人で、延べ取得単位は1,486単位であった。</p> <p>開催に際しては、開催案内をホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募った。</p> <p><b>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</b></p>	
<b>1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施（事業部、地域活動、福祉）</b>	
<b>(1) メタボリックシンドローム予防のための健康セミナー</b>	
<p>11月3日(火)に「メタボリックシンドローム予防のための健康セミナー」を千葉商工会議所で行った。内容は、A講演「脂質異常症の最近の話題～LDLコレステロール治療の重要性～」講師：女子栄養大学栄養学部教授 田中明氏、B講演「メタボリックシンドローム予防のための効果的な栄養指導の在り方」講師：大手前栄養学院専門学校管理栄養士 山本國夫氏で、協賛の花王株式会社からは「機能性食品の効果的な使い方」について講話があり、今後の業務に参考となる有意義な内容であった。県外からの日栄会員および会員外7名を含む112名の参加であった。</p> <p><b>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は大学教授、管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】</b></p>	
<b>(2) 健やか親子21～児童福祉施設におけるクッキング講座～（福祉）</b>	
<p>「健やか親子21～児童福祉施設におけるクッキング講座～」は、12月3日(木)千葉市消費生活センターにて実施した。スキムミルクを素材とした調理実習と事例発表（2題）を行い30名が参加した。</p> <p><b>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】</b></p>	
<b>1-3 保健指導担当者等業務向上研修会の開催（学術部）</b>	
<p>保健指導担当者などのスキルアップのための研修は、生涯教育研修会に組み入れて実施した。</p> <p><b>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】</b></p>	
<b>1-4 栄養士・管理栄養士研修会（総会時特別講演）（総務部）</b>	
<p>定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考えるうえでの基本的な事柄について講演をいただくことを目的に、平成27年度は総会式典終了後に、「これからの栄養士業務に期待するもの～(公社)日本栄養士会の将来構想を踏まえて～」と題して、日本栄養士会監事・顧問弁護士 早野貴文氏の講演を行った。</p> <p><b>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④講師は大学教授または専門家 ⑤協力 ⑥非該当】</b></p>	

2. 特定職域・特定種類業務研修事業－職域研修制度

公衆衛生事業部

(1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 4月23日(木)	第1回 中央研修会	講演 「糖尿病食品交換表の改訂のポイントとその活用」 講師 女子栄養大学 教授 本田 佳子 説明 「平成27年度健康づくり・栄養改善事業について」 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班 副主幹 加藤木 好美	千葉県教育会館	67名 (他事業部8名) (会員外2名)
10月10日(土)	第2回 中央研修会	事例発表 ①「食環境から見る高齢者の支援の検討 ～男の料理教室～」 勝浦市介護健康課 主任栄養士 三浦 アサ子 ②「KDBを活用した重症化予防の取り組み」 南房総市健康支援課 主任管理栄養士 青木 奈々恵 講演 「噛むこと・食べること・生きること」 講師 高浜デンタルクリニック院長 (歯科医師) 健康咀嚼指導士・料理研究家 田沼 敦子	ホテルプラザ 菜の花	76名 (他事業部9名) (会員外5名)

(2) ブロック研修会

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
東 葛	平成27年 7月6日(月)	【市町村栄養士業務検討会】 (1) 各市実施業務について ① 27年度重点および新規事業中心に ② 1歳6か月児および3歳児健康診査問診票について ③ 障害のある子への栄養支援について (2) 情報交換など (3) 次回のテーマについて	松戸市中央 保健福祉センター	20名
	8月11日(火)	【保健所栄養士業務検討会】 (1) 給食施設指導事業について (2) 地域における健康・栄養課題の明確化とPDCAサイクル に基づく施策の推進について	東葛飾合同庁舎	6名
	12月24日(木)	【保健所栄養士業務検討会】 (1) 国民健康栄養調査の実施について (2) 管内業務検討会の実施状況	船橋市保健福祉 センター	7名
	平成28年 1月20日(水)	【市町村栄養士業務検討会】 (1) 食育・ロコモティブシンドローム・共食に関心がある人の 割合調査について (2) 健診全般の視覚媒体について (3) 次回のテーマについて	船橋市中央 保健センター	14名
	3月7日(月)	【保健所栄養士業務検討会】 (1) 各保健所事業評価の結果について (2) 解決すべき課題の抽出について (3) 平成28年度東葛ブロック保健所栄養士業務検討会のテーマ 検討	東葛飾合同庁舎	(予定6名)
利 根	平成28年 1月7日(木)	【健康福祉センター業務検討会】 「地域の健康課題に対する保健所業務の取り組みについて」	印旛合同庁舎	4名
		講演会 講演 「ヤクルト本社の管理栄養士が考えたカラダがよるこぶ 『健腸』レシピの作成と活用について」 講師 (株)ヤクルト本社 広報室学術編集班 学術チーム 係長 管理栄養士 河村 紀子 (株)ヤクルトマネジメント・サービス 管理部食堂課 係長 管理栄養士 藤田 裕子		15名
黒 潮	平成27年 9月1日(火)	(1) 施設見学 東千葉メディカルセンターにおける栄養管理、衛生管理状 況および厨房見学	東千葉メディカル センター	15名
		(2) 業務検討 ① 健康増進計画・食育推進計画の進捗状況 ② 市町村食生活改善協議会中央研修会の実施状況 (3) 第2回の研修内容について	東金市ふれあい センター	17名
	平成28年 1月8日(金)	(1) 事例発表 「低栄養対策事業の現状報告～病院と地域の連携につい て～」 白子町保健福祉課 村杉 早央里	長生合同庁舎	事例発表 20名 講演 26名 (他事業部2名)

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
		「減塩から始まる高血圧対策 ～ヘルスマイトによる特定保健指導の連携事業～」 東金市健康増進課 佐藤 隆子 (2) 講演会 講演 「糖尿病の重症化予防について」 講師 千葉県循環器病センター 平井 愛山		
さざなみ	平成27年 7月3日(金)	【健康福祉センター業務検討会】 「給食施設指導～個別（巡回）指導について～」 【市町村業務検討会】 「年間の栄養業務内容について」 母子事業、成人（特定健診）、高齢者 等	市原健康福祉 セ ン タ ー	9名
	8月11日(火)	【健康福祉センター業務検討会】 「食育指導者研修会について ～企画・運営並びに関係機関との連携について～」 【市町村業務検討会】 「『成人』を対象とした健康教育について ～重症化予防の取り組みについて～」	安房健康福祉 セ ン タ ー	12名
	平成28年 2月17日(水)	【健康福祉センター業務検討会】 「地域の健康・栄養課題を踏まえた保健所栄養士業務の取 り組みについて」 【市町村業務検討会】 「災害時の栄養・食生活対応について」 講演会 講演 「災害時の栄養・食生活支援について ～被災地支援から見たこと～」 講師 日本栄養士会 専務理事 迫 和子 氏	君津健康福祉 セ ン タ ー	23名 (他ブロック7名)
千 葉 市	平成27年 8月3日(月)	介護予防事業について（実施方法の検討）	千 葉 市 保 健 所	12名
	12月7日(月)	介護予防事業について（今後の方向性）	千 葉 市 保 健 所	13名
	平成28年 3月7日(月)	介護予防事業について（28年度の事業展開）	千 葉 市 保 健 所	11名

#### 医療事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 4月26日(日)	研 修 会	講演「糖尿病 薬と食事」 講師 柏市立柏病院 稲澤 健志	千葉市商工会議所	56名
平成28年 2月21日(日)	プラクティス セ ミ ナ ー	講演「急性期の栄養管理Ⅲ」 講師 近森病院 臨床栄養部部长 宮澤 靖	千葉市文化センター	66名

#### 地区研修会

地 区	開催日	内 容	会 場	出席数
千 葉 地 区	7月3日(金)	施設見学	東千葉メディカルセンター	12名
	9月5日(土)	「糖尿病性腎症 病期分類と栄養管理」 講師 昭和大学病院 栄養科 菅野 丈夫	井上記念病院	11名
	平成28年 1月22日(金)	「医療機関で役立つオリゴ糖の働き」 講師 H&Bライフインス ヘルスケア事業部 吉岡 正貴	井上記念病院	9名
東 葛 南 部	7月4日(土)	「高齢者の脱水と水分管理」 講師 (株)味の素 高尾 隼仁 「えっ？仕事の悩んでなんとかなるの？」 グループワーク	済生会習志野病院	17名
	9月12日(土)	「健康情報学入門 エビデンスがあるってどういうこと？」 講師 済生会習志野病院 佐藤 正恵	済生会習志野病院	10名
	11月7日(土)	「エビデンスのある栄養管理 応用編」 講師 済生会習志野病院 佐藤 正恵	済生会習志野病院	11名
東 葛 北 部	平成28年 2月19日(金)	「嚥下評価の方法と適用する食事について」 講師 松戸市立福祉医療センター東松戸病院 言語聴覚士 坂本 和哉	さわやか千葉県民 プ ラ ザ	28名
印 旛	8月1日(土)	「四季を通して薬膳を考える」 講師 レストランヴァンセーヌシェフ 岡部 栄	千葉大学医学部附 属病院院内レストラ	11名
	11月15日(土)	「四季を通して薬膳を考える」 講師 調理実習：進藤 幸敏 講義：安田 由香	佐倉ミレニウムセ ンター調理実習室	9名
香 取 海 匠	7月29日(水)	「インスリンの基礎を学ぼう」 講師 旭中央病院 薬剤師 田枕 昌子	旭 中 央 病 院	40名
	9月16日(水)	「慢性腎臓病における食事療法」 講師 東邦大学医療センター大森病院 酒井 謙	旭 中 央 病 院	58名

地区研修会

地区	開催日	内 容	会 場	出席数
香取海匠	11月19日(木)	銚子港視察		12名
山武生隅 長生隅	7月26日(土)	「超高齢化社会における食を考える 食品メーカーの立場から」 日東ベスト(株)健康事業部 ホスピタグルメ・在宅介護食担当 内田 真帆子	東千葉メディカル セ ン タ ー	15名
	平成28年 2月12日(土)	都合により延期		
安 房	9月16日(木)	「低カリウムレタス等の製品について」 講師 (株)会津富士加工 鈴木 広幸、児玉 由美	亀田総合病院	20名
	11月19日(木)	「便性とプロバイオティクスについて」 講師 (株)クリニコ 難波 里帆	安 房 地 域 医 療 セ ン タ ー	14名
君津市原	10月7日(木)	「腸内免疫と栄養」 講師 池田 重雄	玄々堂君津病院	25名
		延べ件数15件	延べ出席数 274名	

学校健康教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 5月9日(土)	研 修 会	演題「千葉が誇る食文化」 —学校教育における食文化伝承活動を支える取り組み— 講師 大河原 悦子	千葉県教育会館	19名 (会員外1名)
7月4日(土)	研 修 会	講演 「日本食品成分表を理解し 食品成分表2015を活用しよう」 講師 渡邊 智子	和洋女子大学	169名 (他事業部24名) (会員外11名) (学生117名)
11月14日(土)	勉 強 会	生きる力を育むための食育教材研究 教材1 カルシウムが多い食品を探そう 教材2 一日に食べたい野菜の量を知ろう 教材3 栄養素の働きを知ろう	千葉県教育会館	23名 (会員外5名)
12月5日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育事業部共催 「家庭との連携を目指す学校給食と これから期待される栄養教諭とは」 講師 千葉県南房総市南原小学校 (和田給食センター) 栄養教諭 酒井 淳子 シンポジウムテーマ 「これから期待される栄養教諭」 シンポジスト ・千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子 ・南房総市和田学校給食センター 栄養教諭 酒井 淳子 ・船橋市教育委員会保健体育課 主査 岩島 由美子	和洋女子大学	86名 (他事業部11名) (会員外12名) (学生42名)
12月6日(日)	学校保健学会 (ワークショップ参加)	生きる力を育むための食育教材研究 教材1 カルシウムが多い食品を探そう 教材2 一日に食べたい野菜の量を知ろう 教材3 栄養素の働きを知ろう	千葉経済大学	17名 (会員外11名)

福祉事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 4月23日(木)	研 修 会	講演 「食事摂取基準2015年版の概要と活用 ～正しく活用するために～」 講師：千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子	千葉市民会館	56名 (会員外3名)
7月3日(金)	研 修 会	講演「介護報酬改定の概要～管理栄養士・栄養士の役割～」 講師：神奈川県立保健福祉大学 教授 杉山 みち子	千葉市民会館	91名 (会員外20名)
9月8日(火)	工 場 見 学	ヤクルト工場見学 キッコーマンもの知りしょうゆ館見学	茨城工場 野田工場	27名
平成28年 1月20日(木)	研 修 会	講演① 「栄養ケア・マネジメント実施加算・経口維持加算に ついて」 講師：特別養護老人ホームひまわりの丘 管理栄養士 富松 浩美	千葉市文化センター	43名 (会員外1名)
	研 修 会	講演② 「口から食べる支援の充実～多職種連携～」 講師：特別養護老人ホーム松寿園 管理栄養士 伊藤 光子		

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
①11月3日(火) ②12月12日(土) ③12月13日(日)	研 修 会	京浜ブロックファーストステップ(ユニットケア)研修会 24時間シートとICFを活用した栄養ケア計画の作成 ①基礎研修 ②演習(グループワーク) ③演習(グループ発表)	①埼玉県 埼 玉 共 済 会 館 ②神奈川県 マホロバ・マインズ三浦 ③神奈川県 マホロバ・マインズ三浦	40名 (千葉県7名)

#### 勤労者支援事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 4月25日(土)	見 学 会 試 食 会	世界の遺跡から出土した貝の展示と春の展示関連イベントとして講演会「貝塚研究最前線」の一題「アジア・オセアニアの貝塚」を見学 契約農家の朝取り野菜を使った女性オーナーシェフのこだわり料理を試食	千葉県立中央博物館  路地裏ダイニング グリユック	8名
12月5日(土)	見 学 会 試 食 会	ガスの歴史を学ぶ東京ガスの歴史や「収蔵品で見るガス器具の歴史」の展示(昔のガス器具約1200点)とガス灯の点灯実演などを見学 女性が気軽に楽しめるをコンセプトとした和食を試食	東 京 ガ ス の ガ ス ミ ュ ー ジ ャ ム  彩 食 遊 膳 和 花	5名
平成28年 3月23日(木)	見 学 ・ 試 食	タニタ食堂の取り組みを学ぶ。一般客として営業中の食堂を利用し、実際のタニタの営業などについて体験と試食 東京大学の施設にて常設展および企画展「大腸のふしぎ」見学	丸の内タニタ食堂  健康と医学の博物館	10名 (他事業部2名)

#### 地域活動事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 4月25日(土)	研 修 会	演題 「炭水化物の消化吸収について」 講師 和洋女子大学 准教授 多賀 昌樹	千葉県蘇我勤労 市 民 プ ラ ザ	34名 (他事業部1名)
6月25日(木)	研 修 会	演題 「2015年版食事摂取基準について」 講師 千葉県立保健医療大学 講師 荒井 裕介	千葉県蘇我勤労 市 民 プ ラ ザ	35名 (他事業部1名)
9月17日(木)	研 修 会	演題 「ロコモ予防のためのタンパク質・アミノ酸栄養」 講師 味の素(株)東京支社 菅野 由美子	千葉県消費生活 セ ン タ ー	36名 (会員外1名)
8月27日(木)	視 察 研 修	講話「フレンチ料理における食育」 総料理長 唐澤 秀明シェフの講話 地元食材の活用・技術指導他	ホテルフランクス	21名
10月29日(木)	視 察 研 修	講話 「介護食の体験」 山口 賢オーナーシェフ介護食指導他 日東ベスト 介護食の開発について	シ ェ ・ ケ ン	21名
平成28年 1月22日(金)	情 報 交 換 会	地産地消 季節の食材を学ぶ	館 山 市 海の家「伊豆だい ぼ工房」ほか	24名 (会員外5名)
7月、11月、 3月	機 関 紙 発 行	160～162号 各300部		

#### 研究教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 7月4日(土)	研 修 会	講演 「日本食品成分表を理解し、食品成分表2015を活用しよう」 講師 千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子	和 洋 女 子 大 学	169名 (他事業部24名) (会員外11名) (学生117名)
12月5日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育事業共催 「家庭との連携を目指す学校給食とこれから期待される栄養教諭とは」 講演 「日本一おいしいごはん給食を活用した家庭と共に取り 組む学校給食」 講師 千葉県南房総市南原小学校(和田給食センター) 栄養教諭 酒井 淳子 シンポジウムテーマ 「これから期待される栄養教諭」 シンポジスト ・千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子 ・南房総市和田学校給食センター 栄養教諭 酒井 淳子 ・船橋市教育委員会保健体育課 主査 岩島 由美子	和 洋 女 子 大 学	86名 (他事業部21名) (会員外12名) (学生42名)

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
4月～12月	食育推進活動	「食育パンフレット」を活用した食育推進活動	各施設実施 和洋女子大 昭和学院短大 県立保健医療大	

### 千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成27年 9月15日(火)	健康づくり研修会	演題 「日本人の食事摂取基準2015をふまえた日本人の長寿を支える『健康な食卓』について」 講師 千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子	千葉市総合保健 医療センター	184名

いずれの事業も、①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当として行った。

### 3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業を適正かつ円滑に、より広域での活動を実施するための人材確保はきわめて重要である。栄養士・管理栄養士が主体的にこの事業に参加する状況を作るため、本会の行う事業の意義や必要性などを理解していただくため絶えず働きかける必要がある。そのための活動として、職業倫理や使命、業務の意義、公益目的事業の内容、職域事業部の活動の紹介など千葉県栄養士会の基本情報で作成された「入会のおすすめ」などを使い入会を働きかけた。

また、医療や介護などの施設名簿を基に、未加入者に対する郵送による入会の働きかけを行った。各職域事業部も研修参加者に対し入会を勧めた。

また、養成施設8校の協力を得て新たに資格を持って働くことになる卒業予定者に「入会のおすすめ」の配布を行うと共に、時間を設けていただいた養成施設3校に、会長が出向いて直接専門職業人として継続して学ぶことや仲間づくりの必要性とそのための会を維持していくことの重要性などについての説明を行い理解を得ることに努めた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、研修などの内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどをホームページや雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質を確保した。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物等による知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおして、県民の健康で稔り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項第3号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」（食育基本法前文）とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「（教育を通じて）国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」（公益法人認定法別表9）にも該当する。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」（食育基本法前文）とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「（教育を通じて）国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」（公益法人認定法別表9）にも該当する。

### 事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事

業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動をとおして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。

以下に、平成27年度事業計画の概要を記載する。

### Ⅲ. 県民が健康で裕り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業（定款第4条第1項第3号）

#### 1. 個別特性対応型の自律支援事業

##### 1-1 テレフォン栄養相談事業（広報部）

第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて、事業の案内を千葉日報「現代食事考」の記事の後に記載するほか、千葉県中小企業会「情報誌」に掲載した。また、案内チラシの見直しを行い、より分かりやすい文面に変更した。「湯けむり横丁・みはま」の協力を得て、引き続きカタログスタンドを設置して案内チラシを置いた。併せて、食育健康料理教室、講演会などでもチラシの配布を行った。27年度の相談件数は16件であった。相談内容は、生活習慣病や調理法に関するものが多かった。

【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】

##### 1-2 特定保健指導の実施（総務部）

前年度に引き続き中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部の初回指導および6ヶ月の継続指導などの個人指導を、延べ37名（動機づけ21名、積極的支援16名）に対して実施した。

【①県民 ②依頼者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談、助言 ⑤単独 ⑥非該当】

##### 1-3 介護予防栄養改善事業の実施（総務部）

平成28年度からの地域包括支援センターにおける栄養改善事業へ管理栄養士の積極的な参加を図るため、医療および介護福祉施設勤務経験者などの人材確保に努めるとともに、関係機関などから必要な情報の入手に努めた。

また、千葉市地域包括ケア推進課の依頼を受け、多職種連絡会議に参加することとし、若葉区、花見川区、緑区、美浜区で開催された4回の多職種連携会議に会長ほか延べ8名が参加し、地域包括支援センターなどの取組みを学んだ。28年度からは、千葉市在宅医療推進連絡協議会へ参加することになった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談助言 ⑤協力 ⑥非該当】

##### 1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業（事業部）

今年度は依頼がなく、実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤協力 ⑥非該当】

#### 2. 集団特性対応型の自律支援事業

##### 2-1 千葉市ヘルシーカムカム2015への協力事業（千葉地域）

平成27年度は事業へ直接的な参加はしなかったが、間接的に協力した。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

##### 2-2 千葉市健康づくり大会への協力事業（千葉地域）

10月17日(土)千葉市・きぼーるにおいて開催された市民健康づくり大会（健康フェア）に関係団体とともに参加し、食生活コーナーを担当しパネルや食品模型などの展示と相談などを行った。併せて、病態栄養相談コーナーも担当し、生活習慣病の予防や改善などに関する相談を行い市民の食と栄養を通じた健康づくりに寄与した。会員9名が担当しコーナー来場者は402名、生活習慣病予防などの相談を54名に行った。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

##### 2-3 がん予防展への協力事業（事業部）

9月はがん征圧月間にあたり、千葉県・（公財）ちば県民保健予防財団・千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」が県内の主な市街地のショッピングセンター内で開催され、がん予防・健康増進の意識高揚に役立っている。今年度は、9月5日(土)～6日(日)にイオンモール木更津において開催した。開催地域の千葉市の公衆衛生および医療事業部会員3名が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談、食生活コーナーでの「野菜を350g量ろう」を行いコーナーへは77名が来場し好評であった。催しへの参加者は2日間で延べ5,458名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

##### 2-4 地域健康づくり推進事業（医療）

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の機能団体が開催する健康増進に関係する下記のイベントに参加、協力し、地域住民に対する食生活支援活動を行った。

東葛南部地区、「健康フェア」平成27年10月24日(土) 済生会習志野病院

香取海匝地区 「看護の日」栄養相談 平成27年5月16日(土) 銚子イオン

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言、その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催・協力 ⑥非該当】

##### 2-5 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日の行事がイオンモール幕張新都心で5月16日(土)実施され、会員2名が協力し栄養相談などを行った。相談件数は13件であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-6 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

月遅れとなったが栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県食生活改善協議会連合会）の共催により、10月8日(土)に千葉県他の後援を得て千葉県教育会館において開催した。

2部構成とし、1部は「大会式典」、2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として、公益社団法人日本栄養士会専務理事の迫和子氏による「新しい食品表示制度について」の講演を行い、主催団体会員および県民357名が参加した。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-7 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

本年度は、創立70周年・法人設立40周年記念講演会として、11月19日(土)に千葉市：三井ガーデンホテル千葉において、神奈川県立保健福祉大学学長の中村丁次氏による「健康づくり、まず食卓を見直そう」と題した講演を行った。講演の開始にあたり「（公社）千葉県栄養士のあゆみ」のスライドを上映した。会員、県民229名が参加した。

記念講演会は、千葉県健康づくり提唱のつどいと併せて開催した。

【①県民、②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-8 食育健康料理教室の開催（事業部）

平成16年度から公民館などを利用して、健康づくりと生活習慣病の予防、食育の推進を目的として実施した。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催し、「ちばの野菜で元気もりもり」をテーマに統一メニューを作成、各開催・運営は昨年に引き続き講師を含むスタッフ5名で行った。6月～1月に15会場（船橋市・八千代市・市原市・成田市・市川市・松戸市・酒々井町・我孫子市・千葉市・銚子市・安房地区）で開催、延べ参加人数は274名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシ等の配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室）

④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-9 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、栄養を通じた健康づくりの支援を行った。平成27年度は5件の依頼に対して延べ17名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-10 親子料理教室の開催（学校健康教育）

今年度の親子料理教室は8月20日市川市立真間小学校にて小・中・特別支援学校の親子65名、8月4日流山市立北部中学校にて近隣の小学校の親子90名、2月12日・19日南房総市立和田小学校にて親子46名と3月2日南房総市立三原小学校にて46名が参加した。市川市と南房総市では、太巻き祭りを実習し千葉県伝統料理への興味関心を高めることができた。さらに、南房総市では、和田小学校1年生・2年生・4年生を対象におやつについての授業を実施した後、「野菜を使った簡単おやつ・かみかみおやつ」を親子で調理実習を行った。また、流山市では、学校給食の献立を親子で調理実習を行った。給食と同じ献立が好評であった。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験学習（料理教室）、講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

## 2-11 千葉市食育の日事業への協力（千葉地域）

食育月間の行事として千葉市主催で千葉市関係団体との協力により6月27日(土)に食育の集いがアリオ蘇我で開催された。食育のパネル展示や媒体を活用して、健康・食生活の相談を行った。会員6名の協力を得て行った。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-12 健康まつり行事への協力（千葉地域）

今年度は、施設の改修工事が行われたことから、健康まつりは開催されなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-13 県下私立幼稚園食育推進への協力事業（事業部）

今年度は、依頼がなく実施しなかった。28年度の実施の可否について大塚製薬株式会社との担当と協議を行い、実施しないことになった。

【①県民 ②開催幼稚園の広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

## 2-14 介護食調理技能講習への協力事業（事業部）

今年度は、（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-15 健康づくり提唱のつどいの開催（事業部、学術部）

県民の食と栄養を通じた健康づくりに役立つことを目的として、11月19日(土)、千葉市：三井ガーデンホテル千葉において開催した。ヤクルト販売株式会社によるDVD上映「腸内フローラ～その神秘的な世界～」に続き、理化学研究所 辨野義己氏による講演、「腸内細菌が健康を決める！～大切な腸内環境コントロール～」があり、多くの県民を含む229名が参加した。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉県ヤクルト販売(株)の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

## 2-16 調理補助講習への協力事業（事業部）

（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の依頼を受け、派遣就業を希望する高齢者の就業機会拡大を図るため、調理補助者として必要な知識と技能を修得することを目的とした国の事業として行われるこの事業を受託して、講習会を行った。松戸市、成田市、千葉市、木更津市、旭市の5会場において、9月～12月の間に講義と調理実習の2日間のカリキュラムで延べ20名が担当して実

施し、延べ73名が受講した。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

### 3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

#### 3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページを利用して、多くの人々に千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と食と栄養を通じた健康づくりに役立つ情報を提供するため、ホームページ運営委員会を3回開催し、運営方法の充実に努めた。各職域事業部が開催する研修会の案内を掲載するとともに、研修会終了後は研修報告を掲載した。また、トップページの見直しを行い、固定ページの内容変更時に更新情報をトップページに掲載するなど、より検索しやすい工夫を行った。併せて、スマートフォンへの対応も行った。さらに、「現代食事考：かしこく食べる」の内容の見直しを行い、最新の情報に書き換えを行った。

平成28年2月、「『地産地消』レシピ」を掲載するための技術を習得することを目的に研修会を開催し、今後レシピを更新する予定。

【①県民 ②事務所掲示版、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞「現代食事考」に、年間執筆計画をもとに、国の健康づくりに関する月間や年中行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用などに関する記事を会員の協力を得て提供した。平成27年度は、53回分の記事提供となり、掲載された記事は冊子として作成し、執筆者・役員に配布した。内容は、千葉日報のホームページに掲載され、本会のホームページとリンクされている。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業（事業部）

NHK千葉放送局の依頼を受け、千葉FM「ひるどき情報ちば・地産地消の食生活『食と健康』」に会員が3回出演し、食と健康づくりに関する情報を提供し、県民の健康づくりと番組制作に協力した。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

食生活の改善や疾病の予防に関するパネルを、地域の健康づくりのイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行うため栄養千葉、ホームページで紹介し、今年度は5件の貸出を行った。新規のパネルの作成は前年度に引き続き作成しなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネルの作成 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-5 千葉県中小企業中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業中央会情報誌「中小企業ちば」の『食と健康ワンポイント』欄に年4回記事を提供し県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。併せて「健康づくり食生活講演会」の案内の掲載を依頼し、より多くの県民の参加に努めた。

【①県民 ②千葉県中小企業中央会「情報誌」 ③その他（情報発信） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

#### 3-6 湯けむり横丁・みはま「湯けむり新聞」への記事の提供事業（広報部）

千葉市美浜区の湯けむり横丁・みはまと連携して、毎月発行される「湯けむり新聞」に「食べる健康法」と題して、年間執筆計画を作成し記事を提供した。利用者および近隣地域住民に食と健康に関する情報を提供し好評を得ている。併せて、施設のお知らせコーナーへ「生活習慣病を予防する食事」をはじめとするリーフレット、テレホン栄養相談の案内チラシなどをカタログスタンドを設置して、健康づくりに関する情報の提供に努めた。

【①県民 ②ゆけむり新聞 ③その他（情報発信） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、講演会、展示会、集会等の内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをとおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に係る事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、栄養士・管理栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、そ

事業番号	事業の内容
19号	<p>の機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。</p> <p>本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。</p>
<p>事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】</p>	
<p>県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。(2)2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3)3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むこととおして、県民の食環境を望ましいものにすべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、平成27年度事業の実施概要を記載する。</p>	
<p>IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号）</p>	
<p>1. 連携構築事業</p>	
<p>1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部）</p>	
<p>医療機関・団体における地域および健康づくりに関する委員会や会議に参画するとともに、催しに協力して、健康づくりや疾病予防に関する事業の推進を通じて、連携の強化を図った。平成27年度の状況は以下の通り。&lt;関係機関・関係団体&gt;（公社）千葉県医師会、（一社）千葉県歯科医師会、（公社）千葉県看護協会、（一社）千葉県歯科衛生士会、（一社）千葉県調理師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会、（公財）ちば県民保健予防財団&lt;関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織&gt; 千葉県小児保健学会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議、千葉県口腔保健円卓会議、千葉県保険者協議会（オブザーバー）、摂食えん下指導事業推進委員会</p> <p>【①県民 ②主催団体の広報、③その他（情報発信） ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部）</p>	
<p>特定給食施設とともに働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、平成12年から（一社）千葉県調理師会の行う調理師試験対策事業に協力することとし、「調理師試験対策委員会」を設置して必要な協力を行っている。内容は、受験準備講習会において試験7科目のうち6科目を担当し、県内12会場で開催された講習会に延べ59名（講師21名）が講師を務めた。</p> <p>併せて、調理師試験対策委員が分担して「調理師試験問題の正解と説明」の作成を行った。</p> <p>【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】</p>	
<p>2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業</p>	
<p>2-1 栄養改善奨励賞の授与（学術部、総務部）</p>	
<p>栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的とし、平成27年度は第16回千葉県栄養改善学会において発表された一般口演20題を対象に推薦委員会を開催して審査を行い、次の4題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、28年度定時総会式典において表彰することとした。</p> <p>決定した内容は、口演2「1歳6ヶ月・3歳児健康診断受診児における、肥満傾向児の生活・食習慣等の関連についての一考察」、口演7「柏市国保特定保健指導実施後の検査値の経年分析」、口演14「みんなが安心して楽しくおいしく食べる」、口演19「小学生を対象とした健康食育プログラム」であった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>3. 適正な食生活を支援する制度の整備</p>	
<p>3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）</p>	
<p>栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、引き続き、栄養教諭へのアンケート調査の結果を添付して、12月16日(水)に千葉県教育委員会担当課へ、会長ほか2名が出向いて学校栄養職員の栄養教諭免許取得者の全員を栄養教諭として採用することなどの要望書を提出した。</p> <p>27年4月1日現在の配置数は、198名になった。</p> <p>【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業（総務部）</p>	
<p>日本栄養士会の作成した要望書を基に、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくり施策の進展を目的に千葉県健康福祉部主管課、保健センターおよび関係市町村担当者などとの共同による、保健所管理栄養士の配置促進と市町村行政栄養士の複数配置について、11月、九十九里町、御宿町に要望活動を行った。</p> <p>【①県民 ②ホームページ ③その他（情報発信） ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業（総務部、組織部）</p>	
<p>高齢社会が進行し、健康づくりや生活習慣病の予防や重症化予防、介護予防などにおける栄養管理の重要がますます高まる中で、県民の要望に応えるためには、本会における対応の窓口が必要になることから、事務局体制の整備を基本とした、無料職業紹介所の認可を得て栄養士・管理栄養士の適正配置の促進に努めることとしたが、無料職業紹介所は開設することができなかった。</p>	

【①県民 ②ホームページ ③その他（情報発信） ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにする。広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるようにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民（地域住民）の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

## V. 法人運営に関する事業

### 1. 各種事業の充実への取り組み

#### 1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などを定期的かつ効率的に開催し、執行体制の強化を基に事業の充実に努めた。

#### 1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして会員管理事務の充実を基に会費納入率の向上を図った。また会計事務の充実を基に、経費の節減と効率的な執行に努めることなどを中心に、業務の効率化かつ適正な運営を図り、職員の定着に努めるとともに法人として必要な服務管理の徹底などに努めた。京浜地区の他県の事務局業務を視察し、会員管理および会計事務の効率化の適正化に努めることについては、実施できなかった。

#### 1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を定期的に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。

#### 1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

各部との合同により職域事業部事務担当者会議を7月25日(土)に開催し、本会の事業および組織運営など基本的事項の理解を深めるとともに併せて、中堅役員のスキル向上を目的とした研修会を実施した。また、会計担当者会議を6月27日(土)に開催し、職域事業部などにおける会計処理の方法について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。今年度から会計担当者会議にも研修を加えて実施した。

#### 1-5 組織財政問題検討委員会の開催（総務部・組織部）

年2回の委員会を開催し、第3次組織強化長期計画に基づいた、公益社団法人としての組織強化と財政基盤の強化、事業の充実などについて検討を進めた。また、第3次計画の最終年度として、組織部と連携し第4次組織強化長期計画を策定した。

#### 1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

会報「栄養千葉」およびホームページに優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。また、協賛会員との相互理解を深めることを目的に、新春賀詞交歓会を平成28年1月16日(土)に開催し、来賓、協賛会員、会員を合わせて101名が参加した。

#### 1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

日本栄養士会が進めるJDA-DAT事業への参加やスタッフ研修会の開催などは行うことができなかった。また、特定給食施設の非常災害に備えた体制の整備に関する情報の提供、地域住民に対する非常災害時支援活動方法などの検討については今年度も実施することができなかった。

#### 1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動振引き落とし」利用者の増加に向けて、会報「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。結果、27年度の利用者は373名（昨年より3名増）となった。

#### 1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に努めた。併せて各種事業の経費削減に努めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書の発送を行うとともに、各職域事業部と連携し電話での納入依頼などを行い、財政基盤の強化を図った。

#### 1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

平成27年度は会員からの相談はなく、委員会を開催する機会はなかった。

#### 1-11 日本栄養士会関係会議への出席（総務部）

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

#### 1-12 諸規程の整備（総務部）

公益法人としてのより適正な組織運営を行うため、マイナンバー制度導入に伴い、石井文雄税理士、酒井秀大監事の指導を得て特定個人情報等の適正な取扱に関する基本方針および個人情報取扱規程、特定個人情報安全管理細則の制定と就業規程の一部変更を平成28年1月1日付で行った。

併せて、特定個人情報の外部委託に関する合意書を石井文雄税理士と28年1月1日付で締結した。

## 1-13 会報「栄養千葉」の発行（広報部）

4月、8月、12月に119号～121号を発行した。記事は簡潔明瞭に務め、ページ数の縮小を心掛けた。

## 1-14 創立70周年・法人設立40周年記念事業の実施（総務部）

平成27年度は創立70周年、法人設立40周年の節目の年であることから、すべての会員が健康づくり対策における食生活の重要性和、組織の必要性や法人化の意義を改めて確認することなどを目的に、11月19日(木)、千葉市：三井ガーデンホテル千葉において、記念講演、記念式典・祝賀会を開催した。式典・祝賀会には、来賓、協賛会員、会員を合わせて162名が参加した。祝賀会において、今までのあゆみをスライドにした「(公社)千葉県栄養士会のあゆみ」を上映した。

併せて、これまで積み上げてきた歴史などを整理し、次の世代につないでいくこととし、記念誌を410部発行した。

## 2. 会議の開催

### 理事会

第1回 平成27年4月18日(土)

1. 平成26年度収支決算および監査報告について
2. 平成27年度定時総会の開催運営について
3. 平成27年度生涯教育研修会の開催について
4. その他

第2回 平成27年5月30日(土)

1. 平成27年度事業・会議予定について
2. 平成27年度事業の執行について
3. 平成27年度生涯教育研修会の開催運営について
4. その他

第3回 平成27年7月4日(土)

1. 平成27年度事業の執行について
2. 会計処理について
3. その他

第4回 平成27年9月12日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 創立70周年・法人設立40周年記念事業の開催運営について
3. 千葉県栄養改善学会について
4. 平成28・29年度役員選任事務の実施について
5. その他

第5回 平成28年1月16日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成27年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 平成28年度生涯教育研修会の開催について
4. その他

第6回 平成28年3月19日(土)

1. 平成27年度事業報告案の作成について
2. 平成28年度事業計画・収支予算等の決定について
3. 各種委員会の構成と委員の選出について
4. 平成28年度定時総会の開催について
5. 第4次組織強化長期計画(案)の作成について
6. その他

### 部長会

第1回 平成27年5月16日(土)

1. 平成27年度定時総会の開催運営について
2. 生涯教育研修会の開催運営について
3. 平成27年度事業の執行について
4. 平成27年度事業・会議予定について
5. その他

第2回 平成27年6月20日(土)

1. 平成27年度事業の執行について
2. 会計処理について
3. その他

第3回 平成27年8月29日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 創立70周年・法人設立40周年記念事業の実施について
3. 千葉県栄養改善学会の開催について
4. その他

第4回 平成27年11月7日(土)

1. 創立70周年・法人設立40周年記念事業の実施について
2. その他

第5回 平成27年11月28日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成27年度事業報告・収支決算書のとりまとめについて
3. 生涯教育研修会の実施について
4. 平成28年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 平成28・29年度役員の選任について
6. 平成28年度定時総会の開催について
7. 平成27年度収支見込みと事業の見直しについて
8. その他

第6回 平成28年3月5日(土)

1. 平成27年度事業報告案の作成について
2. 平成28年度事業計画・収支予算案原案等の作成について
3. 各種委員会の構成と委員の選出について
4. 平成28年度定時総会の開催について
5. 収支見込について
6. 第3次組織強化長期計画のとりまとめと第4次組織強化長期計画(案)の作成について

# 貸借対照表

平成28年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,048,953	12,790,680	258,273
未収金	174,000	0	174,000
前払費用	320,446	413,708	△ 93,262
仮払金	0	553,068	△ 553,068
流動資産合計	13,543,399	13,757,456	△ 214,057
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	10,645,038	11,439,099	△ 794,061
基本財産合計	10,645,038	11,439,099	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,926,002	1,805,578	120,424
医療機関栄養業務実態調査預金	274,536	601,526	△ 326,990
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,343,799	3,403,142	△ 59,343
特定資産合計	6,144,337	6,410,246	△ 265,909
(3) その他固定資産			
什器備品	130,980	31,154	99,826
ソフトウェア	270,605	0	270,605
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	701,585	331,154	370,431
固定資産合計	17,490,960	18,180,499	△ 689,539
資産合計	31,034,359	31,937,955	△ 903,596
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	18,320	127,860	△ 109,540
前受金	80,000	0	80,000
前受会費	4,743,000	4,404,500	338,500
預り金	2,938,616	2,846,833	91,783
流動負債合計	7,779,936	7,379,193	400,743
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,923,670	1,803,670	120,000
固定負債合計	1,923,670	1,803,670	120,000
負債合計	9,703,606	9,182,863	520,743
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産	21,330,753	22,755,092	△ 1,424,339
(うち基本財産への充当額)	(10,645,038)	(11,439,099)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(6,144,337)	(6,410,246)	(△265,909)
正味財産合計	21,330,753	22,755,092	△ 1,424,339
負債および正味財産合計	31,034,359	31,937,955	△ 903,596

# 正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	1,081	2,611	△ 1,530
特定資産受取利息	1,081	2,611	△ 1,530
受取入会金	118,000	108,000	10,000
受取入会金	118,000	108,000	10,000
受取会費	18,792,500	19,082,500	△ 290,000
受取会費	15,542,500	15,582,500	△ 40,000
協賛会費	3,250,000	3,500,000	△ 250,000
事業収益	9,508,786	7,771,958	1,736,828
受取受講料 (会員)	2,290,300	2,652,500	△ 362,200
受取受講料 (会員以外)	369,048	315,000	54,048
受取分担金	2,325,000	1,138,514	1,186,486
受取業務手数料	3,585,938	3,044,944	540,994
受取事業協賛金	520,000	370,000	150,000
販売収益	146,500	91,000	55,500
雑収益	272,000	160,000	112,000
受取補助金等	20,000	350,000	△ 330,000
受取市補助金	20,000	350,000	△ 330,000
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	14,826	130,928	△ 116,102
受取利息	1,007	1,028	△ 21
雑収益	13,819	129,900	△ 116,081
経常収益計	28,455,193	27,445,997	1,009,196
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,078,310	4,832,830	245,480
臨時雇賃金	263,975	368,900	△ 104,925
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	478,624	436,545	42,079
会議費	677,571	728,904	△ 51,333
旅費交通費	1,447,329	1,430,234	17,095
通信運搬費	1,605,708	1,414,131	191,577
減価償却費	683,689	559,207	124,482
消耗品費	1,469,104	1,962,425	△ 493,321
修繕費	21,536	0	21,536
印刷製本費	1,033,177	1,028,766	4,411
光熱水料費	260,664	255,387	5,277
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	76,375	80,908	△ 4,533
諸謝金	3,950,923	3,621,427	329,496
会場費	1,111,136	768,076	343,060
リース料	340,180	382,516	△ 42,336

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
食料費	236,210	351,197	△ 114,987
支払負担金	324,772	347,418	△ 22,646
渉外費	58,000	58,000	0
表彰費	66,318	11,053	55,265
租税公課	62,300	69,756	△ 7,456
支払利息	0	1,824	△ 1,824
消耗什器備品	68,604	57,017	11,587
雑費	146,487	134,418	12,069
事業費計	20,186,992	19,626,939	560,053
管理費			
給料手当	1,269,578	1,208,207	61,371
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	119,656	109,136	10,520
会議費	735,059	659,489	75,570
旅費交通費	299,528	189,388	110,140
通信運搬費	307,951	259,545	48,406
減価償却費	293,009	239,660	53,349
消耗品費	348,433	282,601	65,832
修繕費	9,230	0	9,230
印刷製本費	2,323,054	1,578,402	744,652
光熱水料費	111,713	109,452	2,261
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	7,011	5,424	1,587
諸謝金	885,600	841,022	44,578
会場費	356,488	126,195	230,293
リース料	145,791	163,935	△ 18,144
食料費	1,565,738	842,349	723,389
支払負担金	105,147	104,110	1,037
渉外費	150,706	127,754	22,952
租税公課	24,900	28,781	△ 3,881
支払利息	0	748	△ 748
表彰費	42,330	28,232	14,098
消耗什器備品	41,340	10,355	30,985
雑費	256,278	95,262	161,016
管理費計	9,692,540	7,304,047	2,388,493
経常費用計	29,879,532	26,930,986	2,948,546
当期経常増減額	△ 1,424,339	515,011	△ 1,939,350
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
前期損益修正益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,424,339	515,011	△ 1,939,350
一般正味財産期首残高	22,755,092	22,240,081	515,011
一般正味財産期末残高	21,330,753	22,755,092	△ 1,424,339
II 正味財産期末残高	21,330,753	22,755,092	△ 1,424,339

平成27年度収支決算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公1 科学技術 振興事業	公2 人材育成 事業	公3 自律支援 事業	公4 食環境整 備事業	公益共通	公益事業計			
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受け取り利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息	1,081					1,081		1,081	
受取入金									
受取入金					59,000	59,000	59,000	118,000	新入会者 118名 (26年度分1名含む)
受取会費					7,771,250	7,771,250	7,771,250	15,542,500	会員1,550名(26年度分7名) 職域事業部のみ17名
協賛会費					1,625,000	1,625,000	1,625,000	3,250,000	協賛会費 63社 65口
事業収入									
受取受講料(会員)		2,290,300				2,290,300		2,290,300	生涯教育研修会 5日間分参加費他
受取受講料(会員以外)	32,000	200,048	137,000			369,048		369,048	研修会参加費、食育健康料理教室材料費
受取分担金			430,000			430,000	1,895,000	2,325,000	改善大会食生活講演会、健康づくり現場のつどい、記念祝賀会、賀詞交歓会参加費
受取業務手数料		764,660	1,310,028	1,206,000	152,625	3,433,313	152,625	3,585,938	栄養ケアステーション事業、会費納入・封入手数料
受取事業協賛金	150,000	130,000	240,000			520,000		520,000	ホームページ他各種事業への協賛金
販売収益		34,000				34,000		146,500	キャリアノート・記念誌
雑収益							272,000	272,000	総会、改善大会、記念祝賀会・賀詞交歓会他
受取補助金等									
受取補助金			20,000					20,000	千葉県健康づくり大会補助金
受取寄付金									
受取寄付金						0		0	
雑収益									
受取利息	21	268			359	648	359	1,007	受取利息
雑収益		8,001			2,909	10,910	2,909	13,819	ボランティア保険繰り戻し他
経常収益計	183,102	3,427,277	2,137,028	1,206,000	9,611,143	16,564,550	11,890,643	28,455,193	
(2)経常費用									
事業費									
給料手当	675,415	2,483,294	1,396,535	523,066		5,078,310			職員給料・手当
臨時雇賃金		42,975	195,000	26,000		263,975			繁忙期臨時雇入れ職員
退職給付費用	12,768	46,944	26,400	9,888		96,000			
福利厚生費	63,657	234,047	131,622	49,298		478,624			社会保険、労働保険、健康診断
会議費	60,844	443,534	138,487	34,706		677,571			
旅費交通費	210,818	742,445	355,547	138,519		1,447,329			
通信運搬費	327,358	1,038,580	207,112	32,658		1,605,708			栄養士会雑誌等発送費含む
減価償却費	90,931	334,324	188,014	70,420		683,689			建物、什器備品
消耗品費	119,090	530,487	762,871	56,656		1,469,104			事務機器他消耗品
印刷製本費	586,863	352,044	88,653	5,617		1,033,177			封筒、振替用紙、入会案内他
光熱水料費	34,668	127,465	71,683	26,848		260,664			電気・ガス・水道料
賃借料	83,790	308,070	173,250	64,890		630,000			事務所地代
保険料	7,924	45,932	16,383	6,136		76,375			
諸謝金	122,507	1,829,081	1,186,335	813,000		3,950,923			生涯教育他講師等謝金
会場費	43,000	762,651	305,485			1,111,136			
リース料	45,244	166,348	93,549	35,039		340,180			事務機器リース料
食料費	129,030	86,180	21,000			236,210			
支払負担金	26,424	122,088	137,796			324,722			日参参加費、防犯契約
渉外費				58,000		58,000			
表彰費				66,318		66,318			栄養改善奨励賞
修繕費	2,864	10,532	5,922	2,218		21,536			
租税公課	8,127	28,811	16,978	8,384		62,300			
支払利息						0			
消耗什器備品	9,124	33,548	18,866	7,066		68,604			
雑費	20,958	101,850	17,671	6,008		146,487			
事業費計	2,681,404	9,871,230	5,555,159	2,079,199		20,186,992			
管理費									
給料手当						1,269,578	1,269,578		職員給料・手当
臨時雇賃金						0	0		
退職給付費用						24,000	24,000		
福利厚生費						119,656	119,656		社会保険、労働保険、健康診断
会議費						735,059	735,059		改善大会含む
旅費交通費						299,528	299,528		
通信運搬費						307,951	307,951		電話料、メール便、切手
減価償却費						293,009	293,009		建物、什器備品
消耗品費						348,433	348,433		事務機器他消耗品
印刷製本費						2,323,054	2,323,054		栄養千葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費						111,713	111,713		電気・ガス・水道料
賃借料						270,000	270,000		事務所地代
保険料						7,011	7,011		
諸謝金						885,600	885,600		税理士、監事謝金
会場費						356,488	356,488		改善大会含む
リース料						145,791	145,791		事務機器リース料
食料費						1,565,738	1,565,738		総会、記念祝賀会、新春賀詞交歓会
支払負担金						105,147	105,147		防犯契約、日赤ほかへの寄付
渉外費						150,706	150,706		
表彰費						42,330	42,330		
修繕費						9,230	9,230		
租税公課						24,900	24,900		
支払利息						0	0		
消耗什器備品						41,340	41,340		
雑費						256,278	256,278		衛生用品ほか
管理費計						9,692,540	9,692,540		
費用合計	2,681,404	9,871,230	5,555,159	2,079,199		20,186,992		29,879,532	
公益事業比率	12.3	49.4	27.8	10.4		62.1	37.9		

# 財 産 目 録

平成28年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管		
		現金	運転資金として	164,811
		職域事業部・	運転資金として	110,037
		千葉地域事業部現金		
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普 2 0 0 6 5 7 6	運転資金として	136,297
		普 2 0 2 0 6 0 9	運転資金として	438,495
		普 3 1 9 2 7 0 0	運転資金として	3,942
		普 3 4 0 9 5 9 8	運転資金として	343,270
		普 3 0 0 6 2 9 9	運転資金として (千葉地域)	24,013
		千葉銀行君津支店		
		普 3 4 5 8 7 7 0	運転資金として (学校)	0
		千葉銀行松ヶ丘支店		
		普 3 3 3 5 0 7	運転資金として (福祉)	0
		千葉信用金庫作草部支店		
		普 0 6 8 2 2 4 2	運転資金として	321,707
		普 0 6 8 5 1 5 1	運転資金として	888,340
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,134
		10570-30174421	運転資金として	724,497
		10530-10135981	運転資金として (公衆衛生)	93,962
		10520-49676711	運転資金として (医療)	272,500
	10550-52137101	運転資金として (勤労者支援)	8,278	
	10520-54350591	運転資金として (地活)	57,732	
	10550-67084701	運転資金として (研教)	48,855	
	10540-39470871	運転資金として (学校)	140,711	
	10540-9029131	運転資金として (福祉)	314,301	
振替口座	ゆうちょ銀行			
	00110-7-779711	運転資金として	224,710	
	00180-2-94011	運転資金として	8,020,351	
	00180-0-576091	運転資金として	662,010	
		<b>【現金預金計】</b>	13,048,953	
未収金	社会福祉セミナー	社会福祉セミナー経費	174,000	
		<b>【未収金計】</b>	174,000	
前払費用	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000	
	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	70,956	
	千葉市文化振興財団に対する前払額	生涯教育研修会会場費	122,490	
	地主紅谷正男氏に対する前払額	地代4月分	75,000	
	千葉県教育会館他に対する前払額	各職域事業部経費の前払額	42,000	
		<b>【前払費用計】</b>	320,446	
<b>流動資産合計</b>				<b>13,543,399</b>
(固定資産)	基本財産			
	建物	115.7㎡ 千葉市若葉区殿台町1 2 2 平屋 1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	10,645,038
			<b>【基本財産計】</b>	10,645,038

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた積立資産である。	1,926,002
	医療機関栄養業務実態調査預金	千葉銀行松ヶ丘支店	県内医療機関栄養業務実態調査事業の積立資産である。	274,536
	全国公衆栄養活動研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立資産である。	600,000
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事業の積立資産である。	3,343,799
			<b>【特定資産計】</b>	6,144,337
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	130,980
	ソフトウェア	会計ソフト		270,605
	敷金・保証金	紅谷正男氏に対する敷金支払額	敷金として	150,000
		紅谷正男氏に対する保証金支払額	保証金として	150,000
			<b>【その他固定資産計】</b>	701,585
固定資産合計				17,490,960
資産合計				31,034,359
(流動負債)				
未払金	未払金	会報(3) 総の便り発送費	日本郵便株式会社	18,320
			<b>【未払金計】</b>	18,320
	前受金	協賛会員からの前受金	協賛会費、バナー広告費として	80,000
			<b>【前受金計】</b>	80,000
前受会費	前受会費	会員からの預り額	平成28年度の会費および入会金の預り額	
			公衆衛生 56名分	560,000
			医療 163名分	1,646,000
			学校 25名分	250,000
			福祉 101名分	1,017,500
			勤労者支援 11名分	110,000
			地活 100名分	1,007,500
			研教 15名分	152,000
<b>【前受会費計】</b>	4,743,000			
預り金	預り金	会員からの預り額 28年度分 職員、税理士他からの預り額 講師からの預り額	日栄会費の預り額 443名分	2,879,500
			源泉所得税の預り額	38,569
			源泉所得税の預り額	20,547
			<b>【預り金計】</b>	2,938,616
流動負債合計				7,779,936
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの	1,923,670
			<b>【退職給付引当金計】</b>	1,923,670
固定負債合計				1,923,670
負債合計				9,703,606
正味財産				21,330,753

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。

什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。

#### (2) 引当金の経常基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

### 2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	11,439,099	0	794,061	10,645,038
小 計	11,439,099	0	794,061	10,645,038
特定資産				
退職給付引当資産	1,805,578	120,424	0	1,926,002
医療機関栄養業務実態調査預金	601,526	550,051	877,041	274,536
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,403,142	657	60,000	3,343,799
小 計	6,410,246	671,132	937,041	6,144,337
合 計	17,849,345	671,132	1,731,102	16,789,375

### 3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	10,645,038	0	(10,645,038)	0
小 計	10,645,038	0	(10,645,038)	0
特定資産				
退職給付引当資産	1,926,002	0	(1,926,002)	(1,926,002)
医療機関栄養業務実態調査預金	274,536	0	(274,536)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,343,799	0	(3,343,799)	0
小 計	6,144,337	0	(6,144,337)	(1,926,002)
合 計	16,789,375	0	(16,789,375)	(1,926,002)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	17,262,213	6,617,175	10,645,038
什器備品	1,495,829	1,364,849	130,980
ソフトウェア	338,256	67,651	270,605
合 計	19,096,298	8,049,675	11,046,623

以上のとおり相違ありません。

平成28年4月9日

公益社団法人 千葉県栄養士会  
会 長 長谷川 克 己 印  
副会長 杉 崎 幸 子 印  
副会長 鯨 岡 春 生 印

## 監 査 報 告 書

公益社団法人千葉県栄養士会  
会長 長谷川 克己 様

平成28年4月9日

公益社団法人千葉県栄養士会  
監 事 高澤 博道 印

公益社団法人千葉県栄養士会  
監 事 酒井 秀大 印

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
  - 一 事業報告は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
  - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類およびその附属明細書類並びに財産目録の監査結果  
計算書類およびその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。